新機能および変更情報

このセクションでは、Cisco Directory Connector EFT についてテストされた機能、および影響を受けたドキュメントのセクションを示します。各セクションへのリンクをクリックすると、ハイライトされた更新が見つかります。

複数ドメインの EFT

- Cisco Directory Connector の概要
- Cisco Directory Connector のインストール
- Cisco Directory Connector へのサインイン
- 同期のリハーサルの実行
- 完全な同期の実行
- 複数ドメインのシナリオ
- ドメインの優先順位の設定
- ドメインの切り替え

プロキシの Basic 認証と NTLM EFT

- NTLM プロキシ
- Cisco Directory Connector のインストール （プロキシ：Basic 認証と NTLM）
- Cisco Directory Connector へのサインイン （プロキシ：Basic 認証と NTLM）

属性の UID EFT へのマップ

- ユーザ属性のマップ （userPrincipalName 属性）

TLS 1.2 EFT

- Cisco Directory Connector のシステム要件

新機能および変更情報

日付	加えられた変更
2018年4月3日	• Cisco Directory Connector の前提条件に、10,000 人以上のユーザ（大規模組織）を同期するプロセスを記載。 • Cisco Directory Connector のシステム要件に、次の文を追加：「仮想マシンのログインの場合は、管理者アカウントの権限で少なくともドメイン情報が読み取れる必要があります。」

2018年2月15日	• Windows Server 2003 について、フォレスト機能のレベル 2 の要件を追加。
	• ガイドの構成を次のように変更：
	  • 新しい章を追加： 環境の準備
	  • AD LDS と Web プロキシの章を廃止。内容を環境の準備に移動。
	  • Active Directory 同期の実行の章を廃止。内容をCisco Directory Connector の導入に移動。
	  • Directory Connector の設定の章を廃止。内容をCisco Directory Connector の導入に移動。
	  • 新しいセクションを追加： Cisco Directory Connector の導入タスク フロー

2018年1月31日	以前に、Unified Directory 機能の概要を正確性の問題ために削除。この内容をCisco Directory Connector の概要に再度追加。一部のユーザに Cisco Spark Calling（クラウド PSTN サービス）を使用する組織でのみ使用できる。
2018年1月25日	アバターの URI パターンおよびユーザのアバターがディレクトリにない場合にどうなるかをわかりやすく説明するためにクラウドへのディレクトリ アバターの同期を更新。
2018年1月16日	• Cisco Spark サービスを Cisco Spark Control Hub のディレクトリ同期ユーザに割り当てるを更新し、Cisco Spark Control Hub の更新されたインターフェイスについて説明し、メール通知を抑制する方法の参照先を追加。 • Cisco Spark Control Hub で管理する Cisco WebEx サイトのアバターを同期する方法についての情報でクラウドへのディレクトリ アバターの同期を更新。

新機能および変更情報

日付	加えられた変更
2018年1月12日	Active Directory から同期したユーザ アカウントをアクティブ状態にする場合は、ドメインを確認し、Cisco Spark Control Hub にシングル サインオン（SSO）を統合する必要がある前提条件を完全な同期の実行に追加。詳細については、「Add and Verify Domains」および「Single Sign-On with Cisco Spark Services and Your Identity Provider」を参照。
2017年12月13日	クラウドへのディレクトリ アバターの同期を更新し、Directory Connector は、http または https で画像にアクセスする必要はあるが、画像がインターネット上に公開されている必要はないことを明確に説明。
2017年11月2日	コネクタ オブジェクトの選択にグループに関するコンテキストを追加。これらは、Hybrid Data Security の導入でのみ使用する。
2017年10月13日	新しい付録を追加：Cisco Spark ユーザに Cisco Directory Connector をプロビジョニングするシナリオ
2017年9月5日	Cisco Directory Connector の概要に、Unified Directory の概要を追加。
2017年8月8日	プロキシ環境で許可リストに追加するために、URL に idbroker.webex.com を追加。
2017年7月19日	サポートされているサーバの一覧に Windows 2012 R2 を追加。
2017年6月15日	サービスアカウントのサインインに関する問題のトラブルシューティングに関するセクションを追加。
2017年6月5日	サポートされているサーバの一覧に Windows 2016 を追加。コネクタのポリシー セクションにサンプルを追加。
2017年5月4日	「ベスト プラクティス」セクションを廃止し、「Cisco Spark ユーザ アカウントの管理」と「Directory Connector のトラブルシューティング」を作成。
2017年3月6日	Directory Connector のアンインストールと登録解除の手順を追加。フェールオーバー間隔について、高可用性（HA）に関する情報を追加。

新機能および変更情報